

アフターサービス

●保証書(別紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2134
ver.1.1

Yupiteru

カメラ一体型ドライブレコーダー

WD250S

取扱説明書

12V車専用

HDR 搭載
(ハイダイナミックレンジ)

白トビや黒ツブレを抑え、
より明瞭な映像を記録します。



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。



安心してお使いいただくために、**必ず1～2週間に一度**、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。(P.12、43)



事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。



電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

確認
と注意

基礎
知識

すべ
に使
つ

カス
タマ
イ
ズ
し
て
使
つ
づ

再
生
す
る

そ
の
他

●重要事項●



必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域(=不良セクタ)が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1～2週間に一度SDカードをフォーマット(●P.12、43)することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル(保護したファイル含む)」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。(●P.50)

●SDカードは消耗品です。

フォーマットしてもSDカードエラー(●P.57)が頻繁に表示される場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SDカードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

確認とご注意	
安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
もしも事故が起きたら・・・	10
SDカードをフォーマットする	12
基礎知識	
各部の名称と働き	13
1. 付属品	14
2. 別売品	15
3. 付属品・別売品の購入について	15
SDカードの取り外し/装着	16
1. SDカードを本体から取り外す	16
2. SDカードを本体へ装着する	16
動画記録モード	17
録画について	18
1. 常時録画	19
2. イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録)	19
3. 上書きモードについて	20
メンテナンスについて	22
初期値について	23

すぐに使う	
本機の取り付け	24
1. 本機を取り付ける	25
2. 電源を接続する	27
別売品の取り付け	28
1. 5Vコンバーター付電源直結コード (OP-E1060)の接続方法	28
2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法	29
3. 電圧監視機能付電源ユニット (OP-VMU01)の接続方法	32
電源ON～OFFまでの手順	36
1. 電源ON(録画を開始する)	36
2. 録画を停止する	37
3. SDカードをフォーマットする	37
4. 日時を設定する	37
5. 録画を再開する	38
6. ワンタッチ記録をする	39
7. 電源OFF(録画を停止する)	39
カスタマイズして使う	
設定メニューの表示方法	41
1. 設定メニューを表示する	41
2. 録画を再開する	41
設定メニュー	42
SD初期化(フォーマット)	43
1. SDカードをフォーマットする	43

Gセンサー感度	44
1. Gセンサー感度を変更する	44
録画ファイルの保護について	45
1. 録画ファイルを保護する	45
2. 録画ファイルを保護解除する	47
3. 録画を再開する	47
録画ファイルの削除について	48
1. 録画ファイルを削除する	48
2. 録画を再開する	49
再生する	
録画ファイルの読み出しについて	50
1. SDカードを直接パソコンと接続する	51
再生モードの表示・再生方法	52
1. 再生モードを表示する	52
2. 本機で録画ファイルを再生する	52
3. 再生中の録画ファイルを一時停止する	53
4. 録画を再開する	54
再生モード	55

その他	
こんなときは	57
故障かな?と思ったら	59
仕様	61

microSDカード対応一覧表	63
1. 録画時間の目安	63
2. イベント記録の最大記録件数	63
索引	64
アフターサービス	裏表紙
1. お客様ご相談センター	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

☛ 裏表紙「アフターサービス」

⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

☛ 関連するページを示します。

⊘ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⊘ **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**

爆発や火災の原因となります。

⚠ 注意

⊘ **結露したまま使い続けしないでください。**
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

⊘ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

⚠ **SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⊘ **濡れた手で操作しないでください。**
感電の原因となります。



⊘ **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**

故障の原因となります。

⚠ **本機は精密機械です。**

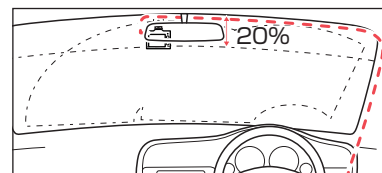
静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

⚠ 警告

⚠ **取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。**

※フロントガラスの下縁から15cm以内の取り付けが可能になりましたが、上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。

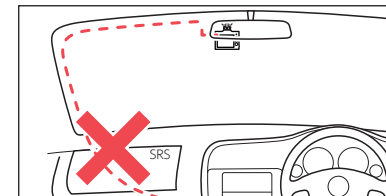


⚠ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ **一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。**

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 注意

- ❗ 取り付けは確実に行ってください。
また定期的に点検を行ってください。
本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをする恐れがあります。
- ❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や感電の原因となります。

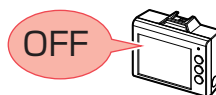
⚠ 注意

- ❗ エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。
- ❗ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。

●SDカードについて

⚠ 警告

- ❗ SDカードの出し入れは、本機の電源OFFを確認してから行ってください。



- ❗ SDカードは一方にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。
このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。
- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。
- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などで拭くとキズの原因となります。
- ❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ❗ ペンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するとき、周囲の安全に十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。
 - ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SDカードに関する注意

- ・SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・SDカードは消耗品ですので、定期的な新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できない場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・SDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・シガープラグコードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。
- ・一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電源が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 液晶パネルに関する注意

- ・表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
- ・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ イベント記録に関する注意

- ・本機はイベント記録時に音が鳴りません。あらかじめご了承ください。イベント記録中は、画面上部にイベント記録アイコンを表示し、電源ランプ(赤)の遅点滅になります。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 日時保持用電池に関する注意

- ・本機は日時を保持するために本体内部に電池を搭載しています。初めて使用する場合や、長期間(3ヶ月以上)使用していなかった場合は、2時間程度走行して日時保持用電池の充電を行ってからご使用ください。また、日時保持用電池は消耗品のため十分な充電を行っても日時情報が保持されない場合は交換が必要です。お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

SDカードの保管

・保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉

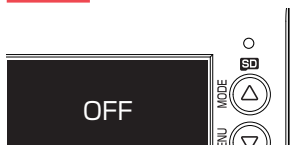


〈腐食性ガス〉

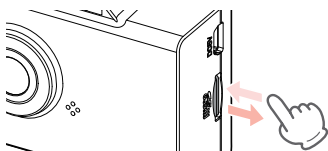
■ 付属品のシガープラグコード接続時

付属のシガープラグコードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1 車両のエンジンをOFFする



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

3 SDカードを保管する

■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

駐車時に事故が起きた場合

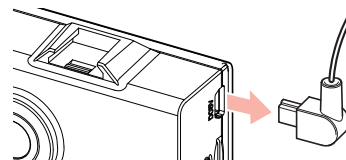
1 車両のエンジンをOFFする



駐車記録を行います。

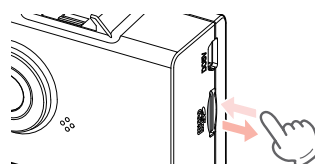
※別売品の設定によっては電源OFFします。

2 本体のDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SDカードを保管する

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

必ず1~2週間に一度、本機でSDカードをフォーマット(初期化)してください。定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

下記の操作は「△ボタン」を使うフォーマット方法です。△ボタンを録画停止中に3秒以上長押しすると、すぐにフォーマットを開始する画面が表示されます。

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

SDカードフォーマットの手順

1 車両のエンジンをONする



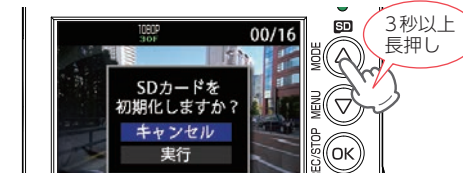
電源ランプが点灯(赤)、録画アイコンが「●REC」(赤)と表示します。

2 OK ボタンを押す



録画を停止します。
電源ランプ(緑)が点灯し録画アイコンと記録時間の表示が消えます。

3 △ボタンを3秒以上長押しする



4 ▽ボタンを押して「実行」を選択し、OK ボタンを押す



「SDカードの初期化が完了しました」と数秒表示します。

5 OK ボタンを押す

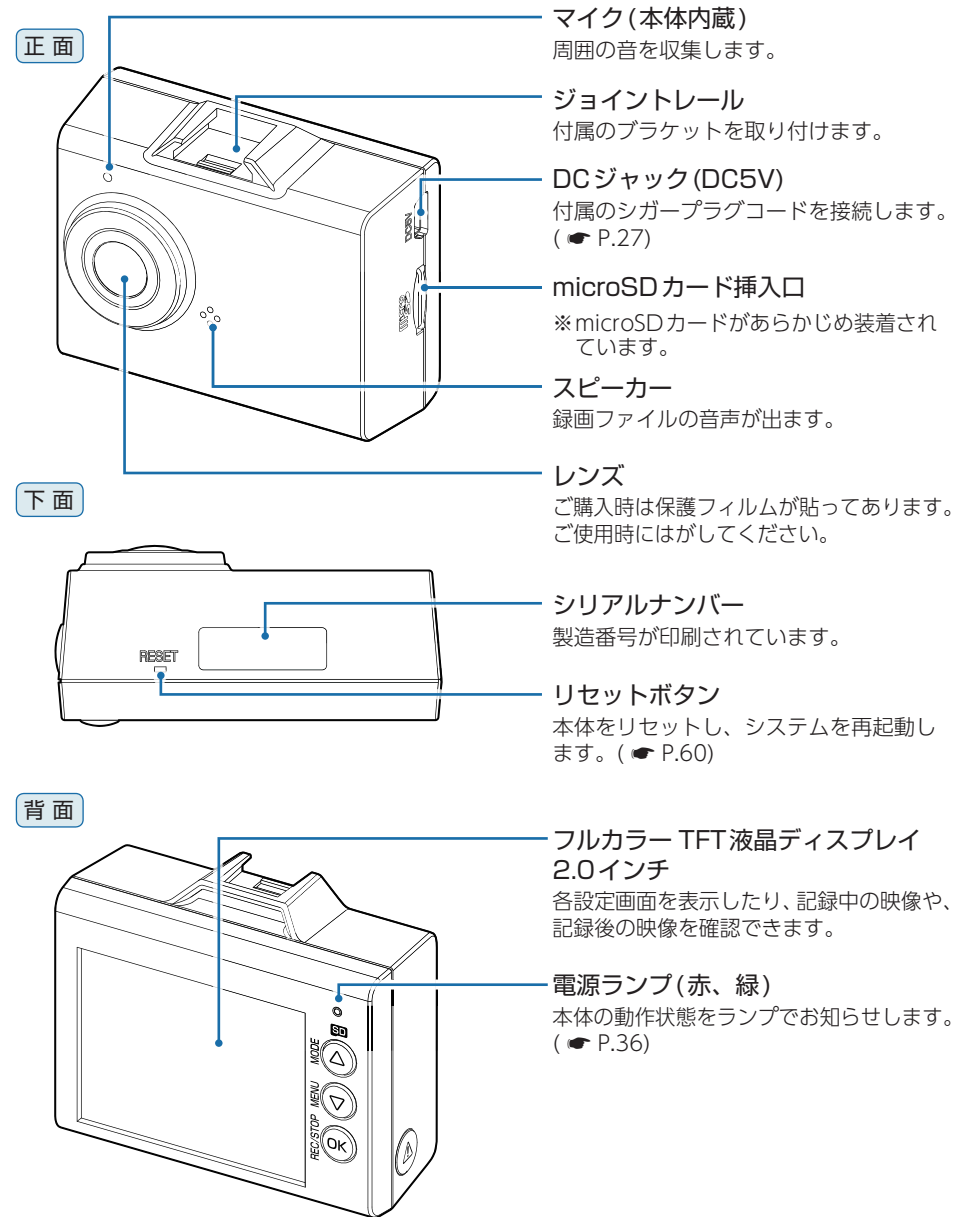


録画を再開します。

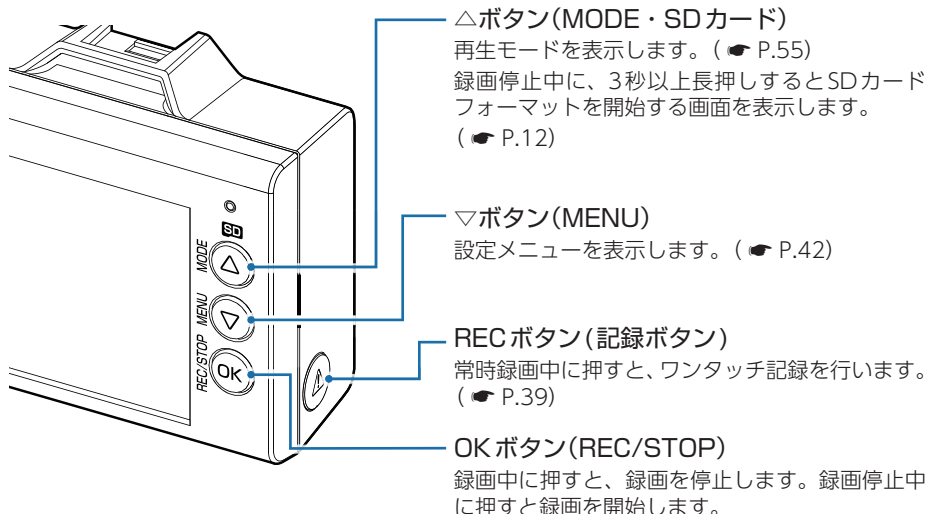
設定メニューからフォーマットする場合は、
P.43を参照ください。

各部の名称と働き

■ 本体



操作ボタン

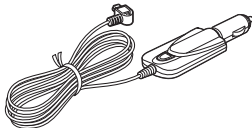


1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- ブラケット 1
(両面テープが貼り付けてあります。)
- microSD カード(8GB) 1
(本体にあらかじめ装着されています。)
- 保証書 1

- 5V コンバーター付シガープラグコード(約4m)(● P.27) 1



- ・本機には、お買い上げの日から1年間の製品保証がついています。ただし、microSD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
- ・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

- 電圧監視機能付 電源ユニット^{※1※2}
OP-VMU01 本体 6,000円 + 税
車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(● P.32)

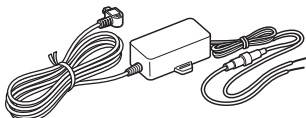
本体	1
入力コード	1
両面テープ	1

- マルチバッテリー OP-MB4000^{※1}
(12V車専用) 本体 23,000円 + 税
エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。(● P.29)

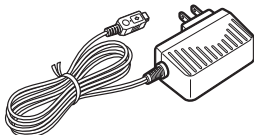
※約3時間の走行で満充電になります。
※最大約12時間の駐車に対応。

本体	1
入力コード	1
出力コード	1
面ファスナー	1

- 5V コンバーター付電源直結コード(約4m)
OP-E1060 本体 2,000円 + 税
シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源を取ることができます。(● P.28)



- ACアダプター OP-E368
本体 3,000円 + 税
ご家庭で使用することができます。



- ※1：別売品の5V コンバーター付電源直結コード(OP-E1060)が必要になります。
- ※2：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

✧Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※本機は、8GB以上、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス「Class10」以上)

⚠ 注意

- ・SDカードは一方にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。
- ・無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

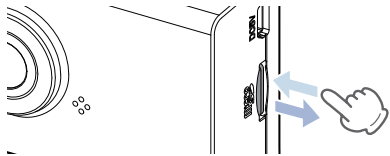
1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。詳しくは、👉 P.11を参照ください。

1-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



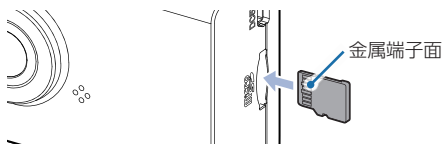
- ※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



＜動画記録モード画面＞

No.	表示名	説明
①	録画アイコン	録画中に表示します。
②	記録時間 ^{※1}	録画中に現在の映像の記録時間を表示します。
③	解像度	録画解像度を表示します。(👉 P.42)
④	音声録音OFFアイコン	音声録音設定がOFFのときに表示します。(👉 P.42)
⑤	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。
⑥	イベント記録件数	現在のイベント記録件数/最大記録件数を表示します。

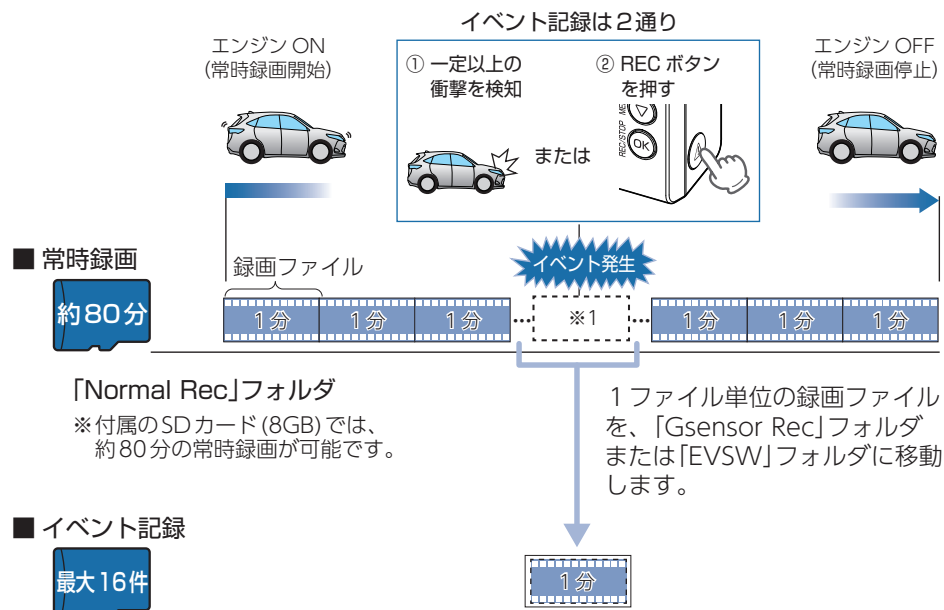
※1：1ファイル(1分)の記録時間になります。(例 00:59→00:00→00:01…)

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機 能
△ボタン	短押し 再生モードを表示します。(👉 P.55)
	長押し 録画停止中に3秒以上長押しですぐにフォーマットを開始する画面へ移行します。(👉 P.12)
▽ボタン	短押し 設定メニューを表示します。(👉 P.42)
OKボタン	短押し 録画の開始、または停止をします。
RECボタン	短押し 常時録画中に押すと、RECボタンを押した前後の録画ファイルを1ファイルとして、ワンタッチ記録フォルダに移動します。(👉 P.20「ワンタッチ記録」)

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。

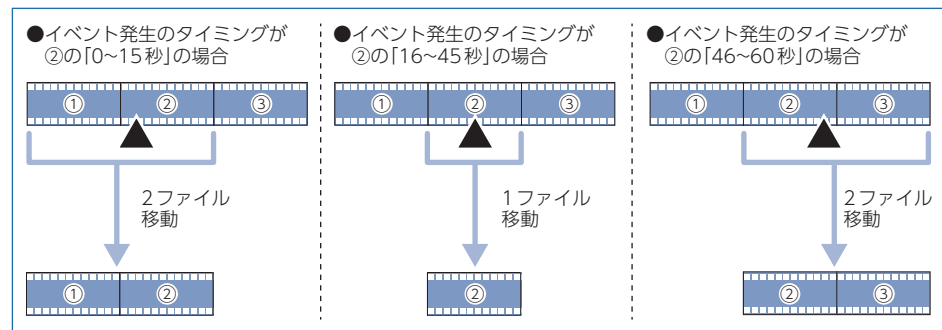


「Gsensor Rec」フォルダ・・・Gセンサー記録

「EVSW」フォルダ・・・ワンタッチ記録

※付属のSDカード(8GB)では、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて16件のイベント記録が可能です。

※1：イベント発生タイミングによって移動するファイル数は異なります。



・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、常時録画、イベント記録それぞれの保護していない古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.20「上書きモードについて」)

・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。

・メッセージが表示された場合は、映像を記録することはできません。(☛ P.57「こんなときは」)

1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。常時録画開始時に『ピロロン』と音が鳴り、常時録画中は電源ランプ(赤)が点灯します。

※ビープ音を「OFF」に設定している場合、音は鳴りません。

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約1分で生成します。

・録画可能時間

初期値(1080P HD 30FPS)で、付属のSDカード(8GB)に約80分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.63)

・上書きモード

初期値では「上書きモード」が「全て上書き」のため、80分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.20「上書きモードについて」)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録中は、画面上部にイベント記録アイコンを表示し、電源ランプ(赤)の遅点滅になります。

※本機はイベント記録時に音は鳴りません。あらかじめご了承ください。

⚠ 注意

常時録画が停止(上書きモードが「上書き禁止」で常時録画のSDカード容量が上限に達した場合)した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわらず行うことはできません。(☛ P.20「上書きモードについて」)

・録画ファイル構成

常時録画の録画ファイル構成と同様になります。

※イベント発生タイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.18)

・最大記録件数

付属のSDカード(8GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて16件のイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(☛ P.63)

・上書きモード

初期設定では「上書きモード」が「全て上書き」のため、記録件数が16件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.20「上書きモードについて」)

■ Gセンサー記録

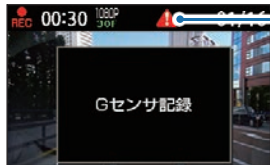
Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「Gsensor Rec」フォルダに移動します。

※初期値では「Gセンサー記録：ON」となります。設定で「OFF」にすることもできます。
(☛ P.42「設定メニュー」)

・ Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て「1.0G」となります。(☛ P.42「設定メニュー」)

一定以上の衝撃を検知



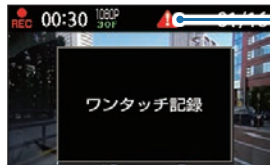
イベント記録アイコン

※Gセンサー記録時に音は鳴りません。

■ ワンタッチ記録(手動録画)

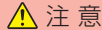
常時録画中にRECボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。

RECボタンを押す



イベント記録アイコン

※ワンタッチ記録時に音は鳴りません。



注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.42「設定メニュー」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き※1	常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き※1 (初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

※1：保護したファイルは、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除して削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.12、43)

■ 上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例①：イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわらず行うことはできません。

・ 常時録画

約80分
以上※

メッセージ(点滅)と音※2

※時間はSDカードの容量により異なります。

SDカードが
いっぱいです

・ イベント記録

16件目
終了時※

17件目
開始時※

メッセージ(点滅)※3

※件数はSDカードの容量により異なります。

イベント領域が
いっぱいです

■ 常時録画上書き※1

常時録画は、SDカード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。

イベント記録は、最大記録件数に達した時点で、記録を停止します。

・ イベント記録

16件目
終了時※

17件目
開始時※

メッセージ(点滅)※3

※件数はSDカードの容量により異なります。

イベント領域が
いっぱいです

■ 全て上書き(初期値)※1

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※1：保護したファイルは、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除して削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.12、43)

※2：音はメッセージの開始時に数秒間鳴ります。ピープ音を「OFF」に設定している場合、音は鳴りません。

※3：音は鳴りません。

メッセージ表示を止める場合は、各ボタンを押してください。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1～2週間に一度のメンテナンス

⚠ 注意

必ず1～2週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。(☛ P.12、43)

■ 必要に応じてメンテナンス

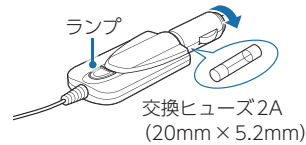
・付属のシガープラグコードのヒューズ交換

※交換用ヒューズ 2A(20mm × 5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない(シガープラグコードのランプが点灯しない)場合は、シガーコードのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・別売品のヒューズ交換

※マルチバッテリー (OP-MB4000)：交換用ヒューズ 6A(30mm × 6.0mm)

※電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01)：交換用ヒューズ 3A(30mm × 6.4mm)

※5V コンバーター付電源直結コード (OP-E1060)：交換用ヒューズ 2A(20mm × 5.2mm)

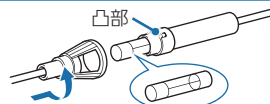
接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

<OP-MB4000、OP-VMU01>

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



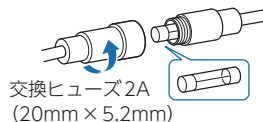
OP-MB4000：交換ヒューズ 6A(30mm × 6.0mm)

OP-VMU01：交換ヒューズ 3A(30mm × 6.4mm)

<OP-E1060>

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説明
解像度	1080P HD 30FPS	1920 × 1080、30コマ/秒で録画します。
音声録音	ON	動画と同時に音声を録音します。
Gセンサー記録	ON	一定以上の衝撃を検知すると、Gセンサー記録を行います。(☛ P.20「Gセンサー記録」)
Gセンサー感度(X)	1.0G	X(前後方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Y)	1.0G	Y(左右方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Z)	1.0G	Z(上下方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
上書きモード	全て上書き	SDカードの上限に達すると、全ての録画ファイルを上書きします。 (☛ P.20「上書きモードについて」)
ピープ音	ON	操作時やメッセージ表示時などに、音が鳴ります。 また録画ファイルの再生時に音声がかかります。 ※録画中は音が鳴りません。
画面自動オフ	常時ON	画面は常にONの状態です。

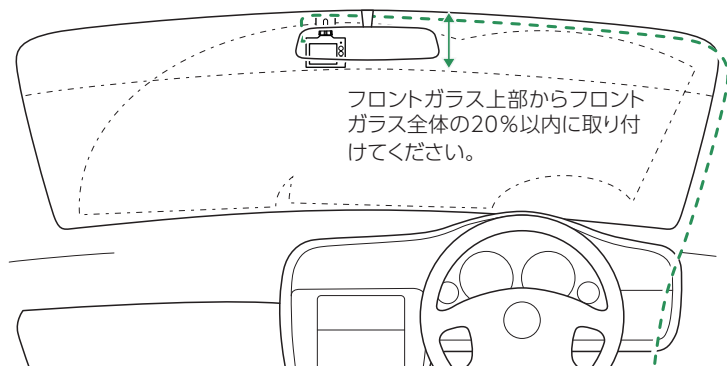
※初期値を変更する場合は、☛ P.41～44「カスタマイズして使う」を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

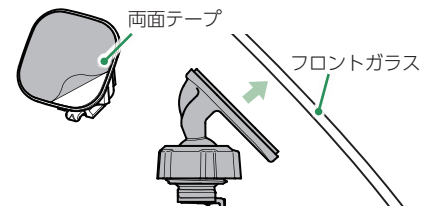
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

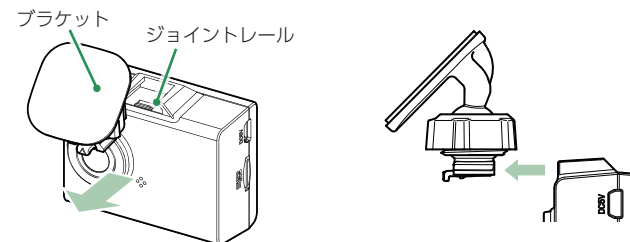


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

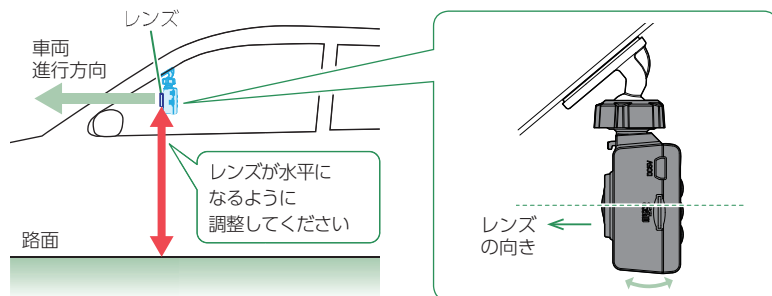
- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付せず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 ブラケットを本体のジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせて、本体をブラケットに装着する



※奥までスライドさせ軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下する恐れがあります。

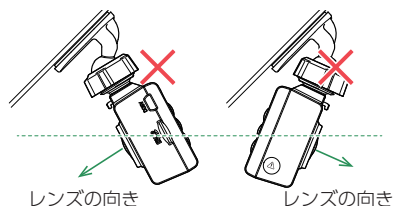
1-3 レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

レンズの向きが車両進行方向と水平ではない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

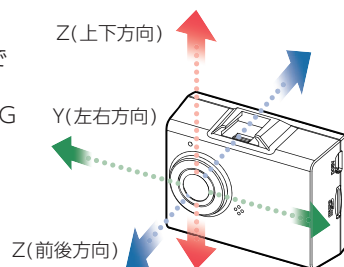
※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。



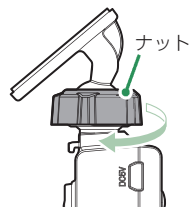
Gセンサー感度について

Gセンサー感度設定は右図の3方向(XYZ)で設定します。

設定範囲は0.5G(敏感)~4.0G(鈍感)の0.1G単位で設定できます。(P.44)

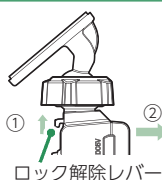


1-4 ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

- ① ロック解除レバーを持ち上げます。
- ② 本体を矢印の方向へスライドさせます。



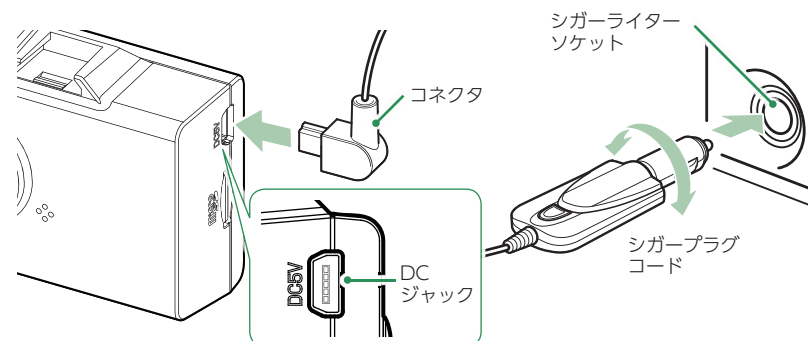
※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

※ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

2. 電源を接続する

別売品の接続方法は(P.28)を参照ください。

2-1 シガープラグコードを接続する



付属のシガープラグコードを本体のDCジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※付属のシガープラグコード、または別売品の電源直結コード、ACアダプター(P.15[別売品])をご使用ください。

※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

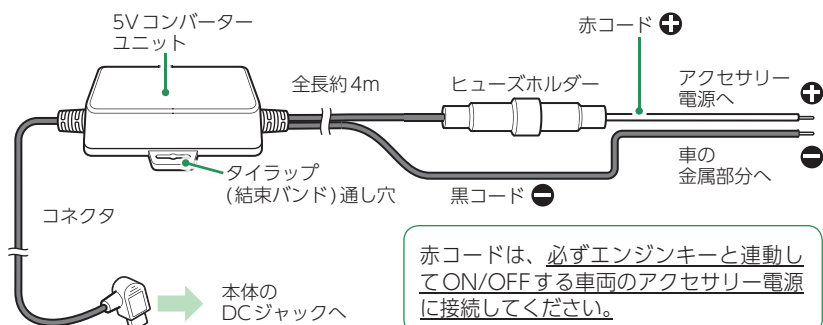
別売品の取り付け

1. 5Vコンバーター付電源直結コード(OP-E1060)の接続方法

⚠ 注意

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1-1 電源直結コードを接続する



別売品の電源直結コードを本体のDCジャックと車両へ接続します。

- ※付属のシガープラグコード、または別売品の電源直結コード、ACアダプター(●P.15[別売品])をご使用ください。
- ※電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。
- ※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-2 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

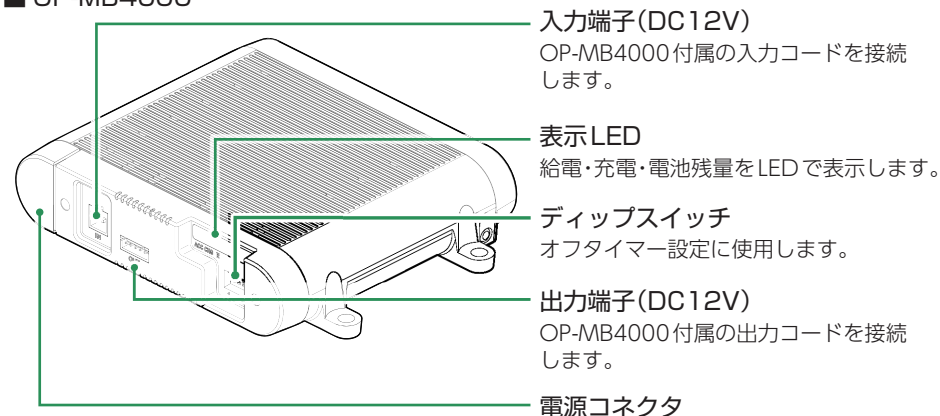
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください

- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。

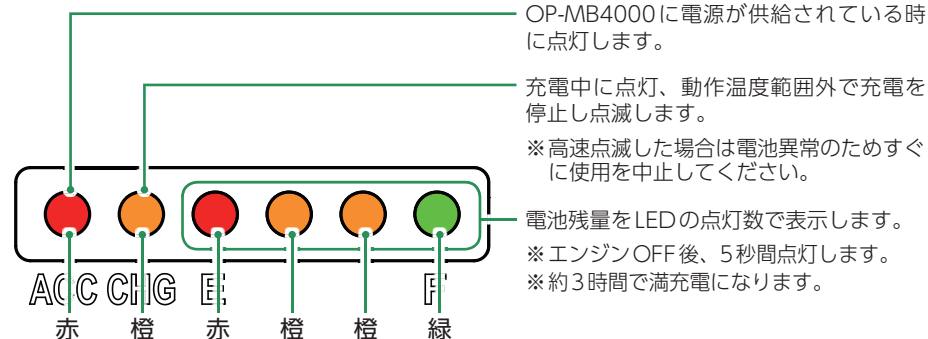
取り付けと配線完了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



■ 表示LEDについて



⚠ 注意

- OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
- ※電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

2-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

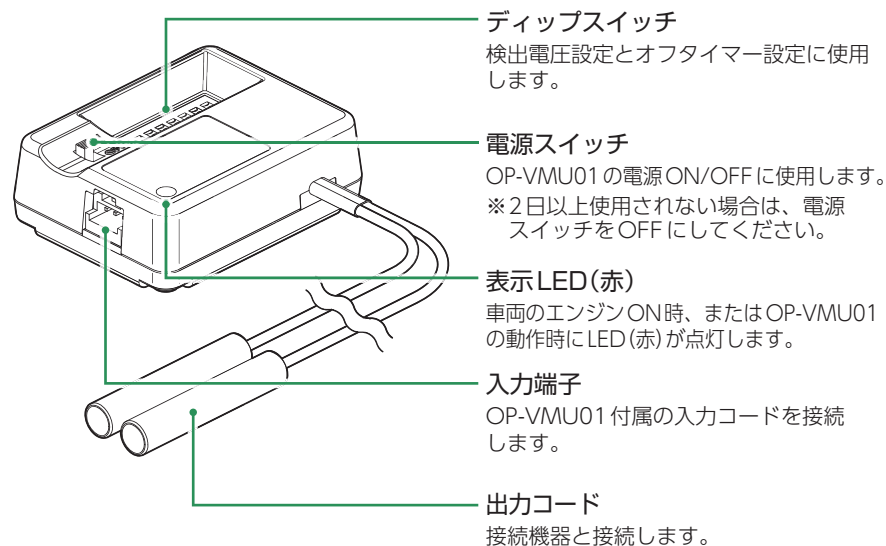
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

3. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法

■ OP-VMU01

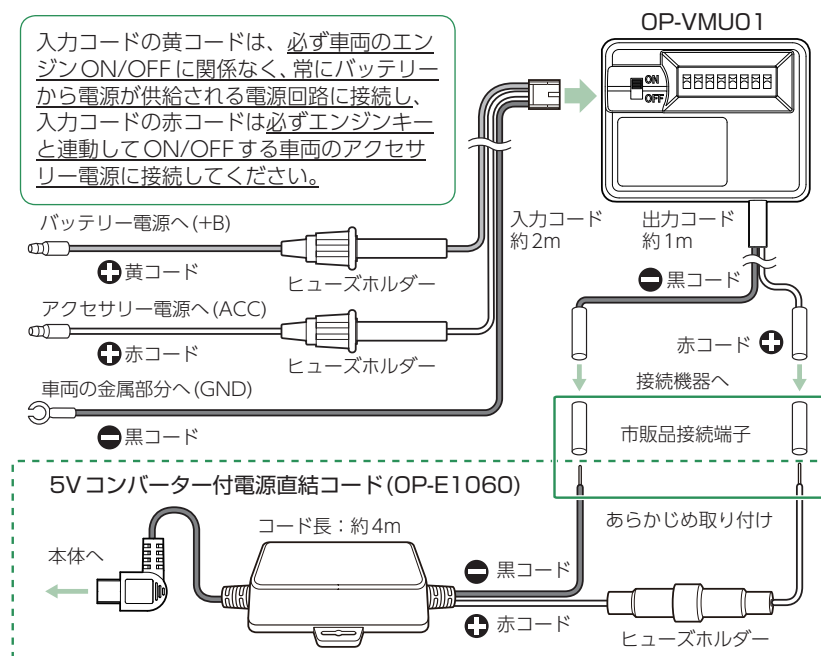


■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

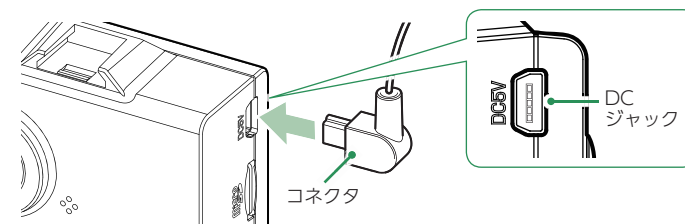
- ① OP-VMU01
- ② OP-VMU01 付属入力コード
- ③ 5V コンバーター付電源直結コード※1
- ④ 市販品接続端子

※1：別売品の5V コンバーター付電源直結コード(OP-E1060)が必要になります。

3-1 OP-VMU01 を車両に接続する



3-2 電源直結コードを接続する



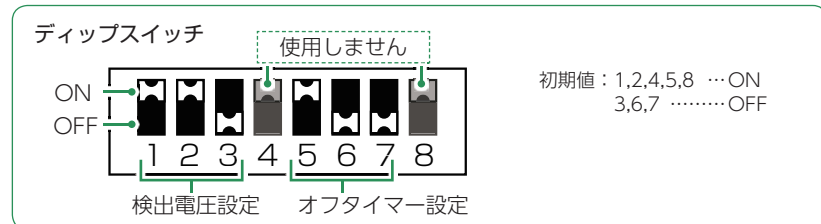
別売品の電源直結コード(OP-E1060)を本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

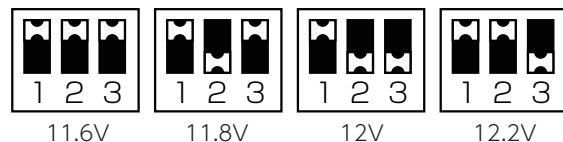
3-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

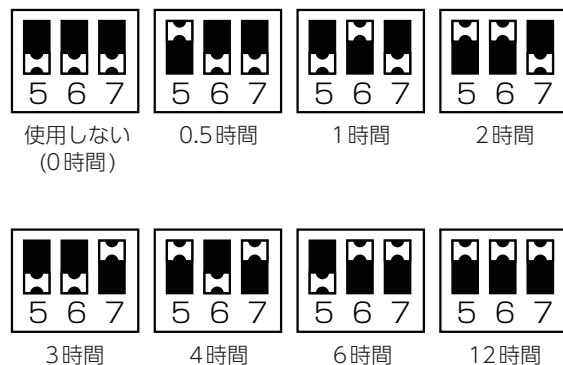
- ※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
- ※ディップスイッチの4、8は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
- ※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。



■ 検出電圧設定(1～3使用) 12V車



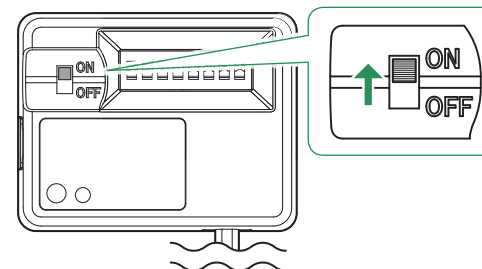
■ オフタイマー設定(5～7使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

3-4 電源スイッチをONにする



3-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

エンジン ON

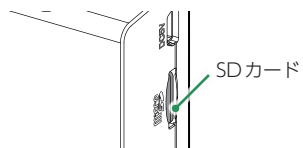


※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON (録画を開始する)

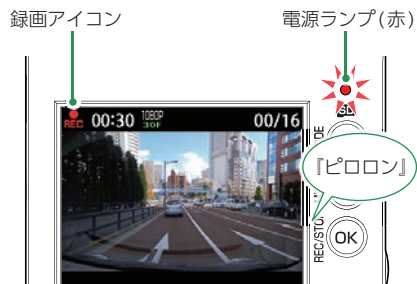
本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



- ・SDカードが挿入されていないときは…
電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
➡ P.16「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両のエンジンを ON する



・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤の点灯	常時録画中
赤の早点滅	「SDカードを挿入してください」メッセージ時
赤の遅点滅	イベント記録中
緑の点灯	上記以外の動作
消灯	電源 OFF

電源ランプ (赤) と録画アイコンが点灯し、録画を開始します。

録画開始までの時間について…

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

2. 録画を停止する

2-1 OK ボタンを押す



録画を停止します。

- ※録画停止中は、電源ランプ (緑) が点灯し、録画アイコンの表示が消えます。
- ※録画を再開する場合は、再度 OK ボタンを押してください。

3. SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。

フォーマット方法は、➡ P.12、43 を参照ください。

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

・録画ファイルのバックアップ… ➡ P.50「録画ファイルの読み出しについて」

4. 日時を設定する

「日時」を選択し、現在の日時を設定してください。

※設定した時刻は、使用するにつれてずれることがあります。1ヶ月に1度は日時設定をし直すことをお勧めします。

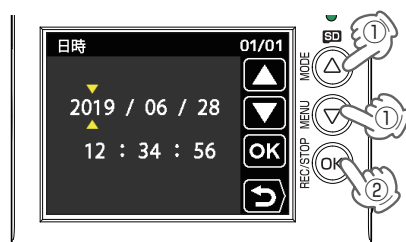
4-1 ▽ボタンを押して「日時」を選択し、OK ボタンを押す



・設定メニューが表示されていない場合…

➡ P.41「設定メニューを表示する」

4-2 △▽ボタンを押して日時を変更し、OK ボタンを押す

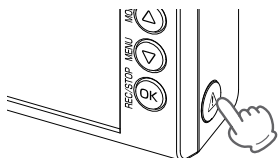


・日時設定画面のボタン機能

ボタン	機能
△ボタン	短押し 値が増加します。
▽ボタン	短押し 値が減少します。
OK ボタン	短押し 次の項目へ移ります。
REC ボタン	短押し 設定メニューに戻ります。

選択中の項目に **X** マーク (黄) を表示します。

4-3 REC ボタンを押す



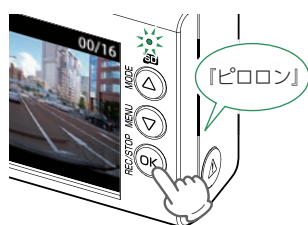
設定メニューへ戻ります。

5. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ (赤) と録画アイコンが点灯します。

■ 録画停止時の場合

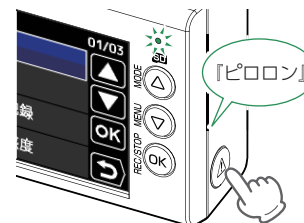
5-1 OK ボタンを押す



録画を開始します。

■ 設定メニューの場合

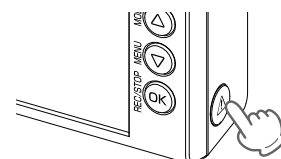
5-1 REC ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

6. ワンタッチ記録をする

6-1 常時録画中に、REC ボタンを押す



イベント記録アイコンが点灯し、電源ランプ (赤) が遅点滅します。

※ワンタッチ記録時に音は鳴りません。

※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画へ戻ります。

※ワンタッチ記録の詳細は、P.19を参照ください。

7. 電源OFF (録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

7-1 車両のエンジンをOFF する

録画が停止し、電源OFF になります。

7-1 車両のエンジンをOFFする



・駐車記録とは…

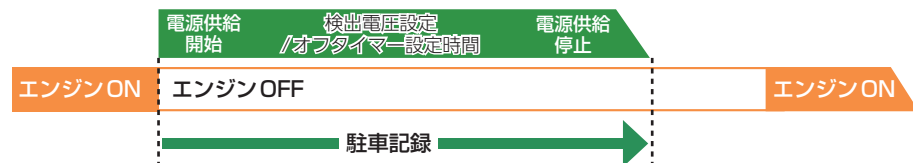
エンジンOFF状態で外部電源により
駐車中に記録を行うこと。

録画を継続し、駐車記録を行います。
※別売品の設定によっては電源OFFします。

7-2 車両のエンジンをONする

駐車記録が継続している場合、録画を継続して行います。
駐車記録が停止している場合、録画を開始します。

■ 駐車記録時の動作



検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(P.30、34)

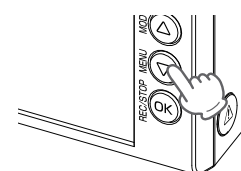
※マルチバッテリー (OP-MB4000) はオフタイマー設定のみになります

※強制的に駐車記録を停止する場合は、本体のDCジャックから電源コードを取り外してください。(P.11)

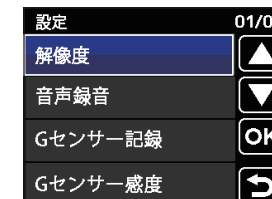
設定メニューの表示方法

1. 設定メニューを表示する

1-1 本体の電源ONを確認し、▽ボタンを押す



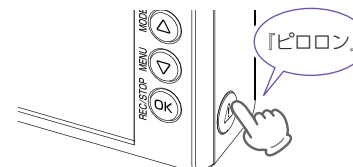
設定メニューを表示します。



2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。
録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

2-1 REC ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

設定メニュー

設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は ➊「設定メニューを表示する」参照ください。



★は初期値です。

項目	設定	説明
解像度	1080P HD 30FPS(★)	録画の解像度を選択します。 1080P HD : 1920 × 1080 720P : 1280 × 720
	720P 30FPS	
音声録音	OFF	音声録音のON/OFFを設定します。
	ON(★)	
Gセンサー記録	OFF	Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。
	ON(★)	
Gセンサー感度	X : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★)	X (前後方向)、Y (左右方向)、Z (上下方向) の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。(➊ P.44)
	Y : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★)	
	Z : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★)	
上書きモード (➊ P.20)	上書き禁止	詳細は ➊ P.20「上書きモードについて」を参照ください。
	常時録画上書き	
	全て上書き(★)	
日時	—	日付や時刻を設定します。(➊ P.37)
ビープ音	OFF	操作時やメッセージ表示時などに、音を鳴らすか、また録画ファイルの再生時に音を鳴らすかON/OFFで設定します。 ※音と音声を個別に設定することはできません。 ※録画中は音が鳴りません。
	ON(★)	
画面自動オフ	30秒後／3分後／5分後／常時ON(★)	録画開始から設定時間が経過すると、画面を自動的にOFFします。
SD初期化	キャンセル	SDカードを初期化(フォーマット)します。 ※録画ファイルが全て削除されます。
	実行	
設定初期化	キャンセル	本機をご購入時の設定に戻します。
	実行	
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ 設定メニュー時のボタンの機能

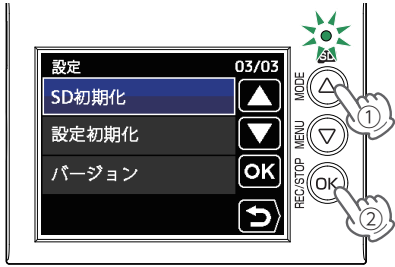
ボタン	機 能
△ボタン	短押し 設定項目を選択したり、値を増加します。
▽ボタン	短押し 設定項目を選択したり、値を減少します。
OKボタン	短押し 選択項目を決定します。
RECボタン	短押し 前の画面へ戻ります。

SD初期化(フォーマット)

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

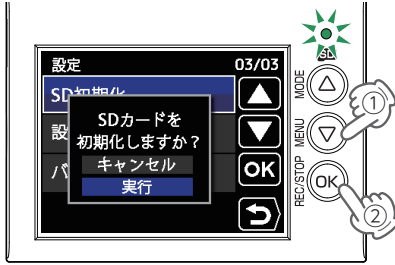
1. SDカードをフォーマットする

1-1 △ボタンを数回押して「SD初期化」を選択し、OKボタンを押す



・設定メニューが表示されていない場合…
➊ P.41「設定メニューを表示する」

1-2 ▽ボタンを押して「実行」を選択し、OKボタンを押す



「SDカードの初期化が完了しました」と数秒表示し、自動的に設定メニューへ戻ります。

Gセンサー感度

頻繁にGセンサーが反応する場合は、Gセンサー感度の設定をすることをお勧めします。

1. Gセンサー感度を変更する

1-1 ▽ボタンを数回押して「Gセンサー感度」を選択し、OKボタンを押す



・設定メニューが表示されていない場合…

☛ P.41「設定メニューを表示する」

1-2 △▽ボタンを押して方向(X, Y, Z)を選択し、OKボタンを押す



・Gセンサーについて

X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。

感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります

選択した方向(X, Y, Z)が青→橙になります。

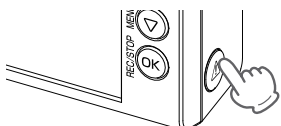
1-3 △▽ボタンを押して値を変更し、OKボタンを押す



・Gセンサー感度画面のボタン機能

ボタン	機 能
△ボタン	短押し 値が増加します。
▽ボタン	短押し 値が減少します。
OKボタン	短押し 値を決定します。
RECボタン	短押し 設定メニューに戻ります。

1-4 RECボタンを押す



設定メニューへ戻ります。

録画ファイルの保護について

録画ファイルは下記の手順で保護することができます。

保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※ 保護した録画ファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除してから削除するか、フォーマットすることで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。(☛ P.12、43)

⚠ 注意

初期値では、保護していない録画ファイルは、各記録方法の上限に達すると、上書きされます。(初期値「上書きモード：全て上書き」)

1. 録画ファイルを保護する

1-1 本体の電源ONを確認し、△ボタンを押す



・常時録画とは …………… ☛ P.19

・Gセンサー記録とは … ☛ P.19

・ワンタッチ記録とは … ☛ P.19

フォルダ選択画面を表示します。

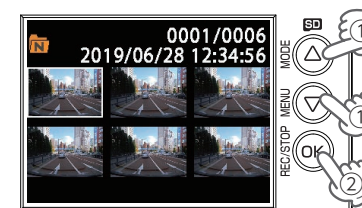
1-2 △▽ボタンを押して録画ファイルの記録方法を選択し、OKボタンを押す



ファイル選択画面を表示します。



1-3 △▽ボタンを押して録画ファイルを選択し、OKボタンを押す



ファイル再生画面を表示します。



1-4 OKボタンを押す



録画ファイルを再生します。



1-5 OKボタンを押す



録画ファイルが一時停止し、操作メニューを表示します。



1-6 Δボタンを押す



表示中の録画ファイルを「保護」、または「保護解除」を選択できます。



1-7 Δボタンを押す



表示中の録画ファイルを保護します。保護が完了すると、ファイル選択画面へ戻ります。



保護が完了すると、ファイル選択画面上に アイコンを表示します。

2. 録画ファイルを保護解除する

2-1 P.45、46手順「1-1 ～ 1-6」を行い、保護を解除したい録画ファイルを選択する

2-2 ∇ボタンを押す



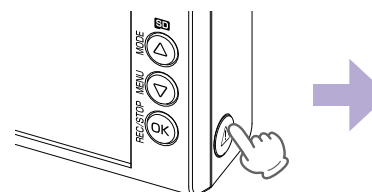
表示中の録画ファイルを保護解除します。保護解除が完了すると、ファイル選択画面へ戻ります。

保護解除すると、ファイル選択画面上の アイコンの表示が消えます。

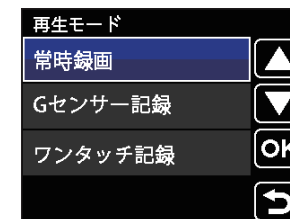
3. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

3-1 RECボタンを押す



フォルダ選択画面へ戻ります。



3-2 RECボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

保護したファイルでSDカードがいっぱいになると、本機の記録が停止します。必要に応じて録画ファイルをバックアップなどしてから、本機でSDカードをフォーマットしてください。(P.12、43)

録画ファイルの削除について

録画ファイルは下記の手順で表示中の録画ファイルを削除、またはフォルダ内の録画ファイルを全て削除することができます。

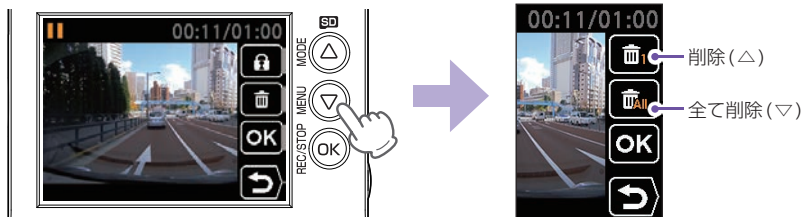
※保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※保護した録画ファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除して削除するか、フォーマットすることで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。(P.12、43)

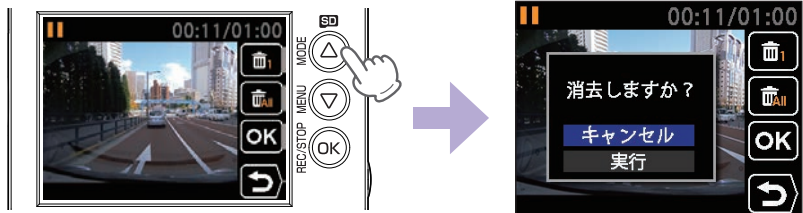
1. 録画ファイルを削除する

1-1 P.45、46手順「1-1 ～ 1-5」を行い、削除したい録画ファイルを選択する

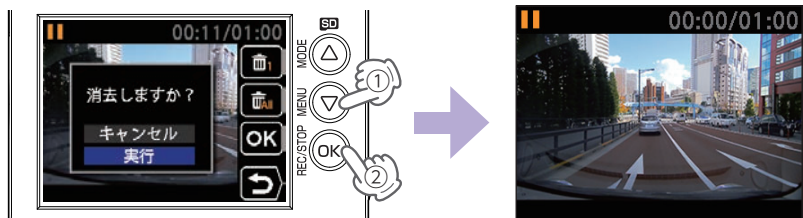
1-2 ▽ボタンを押す



1-3 △ボタンを押す



1-4 ▽ボタンを押して[実行]を選択し、OKボタンを押す



消去が完了すると、次の録画ファイルのファイル再生画面になります。

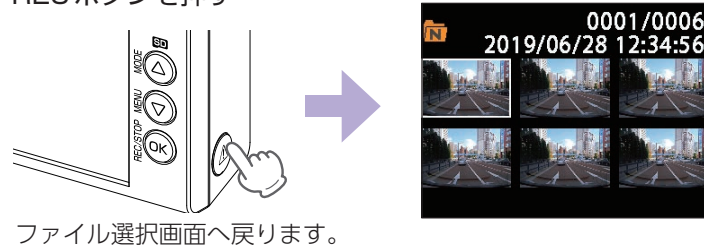
※保護されたファイルの場合、「ファイル保護されています 消去できません」と表示し、削除することはできません。保護解除 (P.47) してから削除を行ってください。

フォルダ内の録画ファイルを全て削除する場合は、 P.48手順「1-3」で ▽ ボタンを押してください。

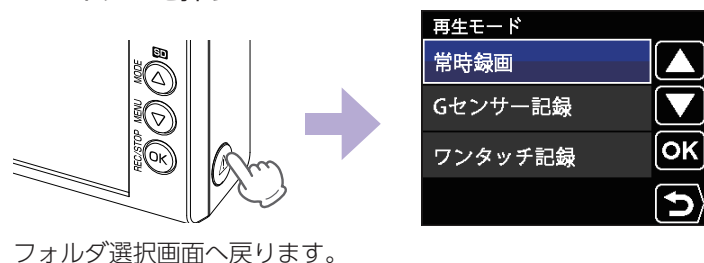
2. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

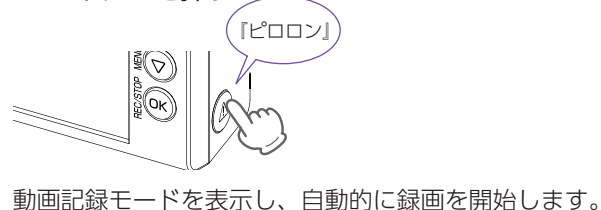
2-1 REC ボタンを押す



2-2 REC ボタンを押す



2-3 REC ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 10、8、7

CPU: Core2Duo相当、2.0GHz以上

メモリ : 2GB 以上

(2019年5月現在)



※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。

本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20190628 _ 123456 _ 0001 . MOV — 動画

— ファイル番号
— 記録時間 (時分秒)
— 記録日 (年月日)

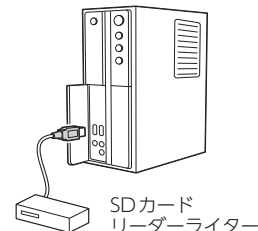
■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

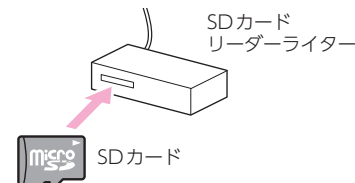
SDカード	Normal Rec	20190628_123456_0001.MOV
		⋮
	Gsensor Rec	20190628_133456_0002.MOV
		⋮
	EVSW	20190628_143456_0003.MOV
		⋮

1. SDカードを直接パソコンと接続する

1-1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



1-2 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



1-3 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



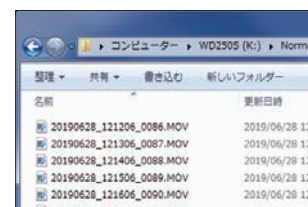
・フォルダ名について

常時録画…[Normal Rec]

Gセンサー記録…[Gsensor Rec]フォルダ

ワンタッチ記録…[EVSW]フォルダ

1-4 録画ファイルをダブルクリックする



Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

再生モードの表示・再生方法

1. 再生モードを表示する

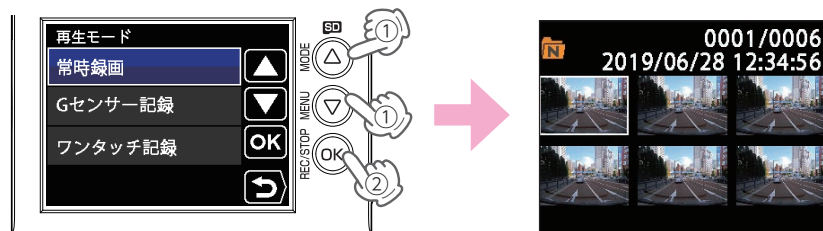
1-1 本体の電源 ONを確認し、△ボタンを押す



再生モードのフォルダ選択画面を表示します。
※駐車記録中の録画ファイルは「常時録画」に記録されます。

2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 △▽ボタンを押して記録方法を選択し、OK ボタンを押す

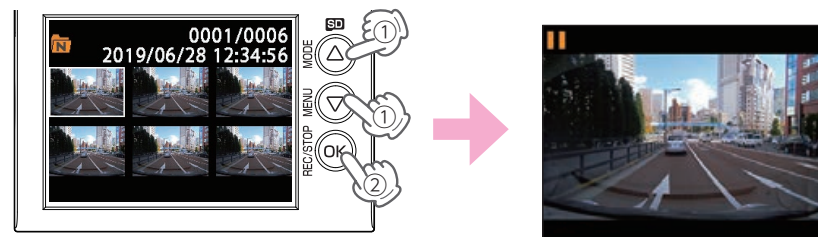


ファイル選択画面を表示します。
※ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルがありません」と表示します。
REC ボタンを押すとフォルダ選択画面に戻ります。

※ファイルが再生できない場合、ファイル選択画面上に  を表示します。

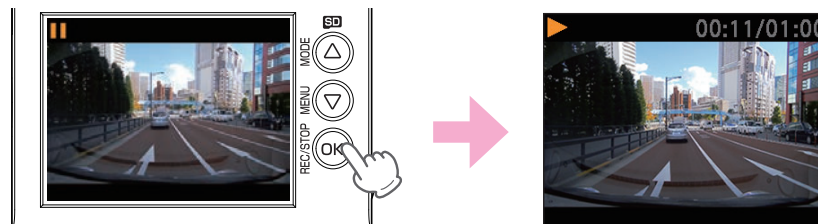


2-2 △▽ボタンを押して録画ファイルを選択し、OK ボタンを押す



ファイル再生画面を表示します。

2-3 OK ボタンを押す



録画ファイルを再生します。
録画ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。
※ビープ音が「OFF」の場合、音声は鳴りません。(P.42)

3. 再生中の録画ファイルを一時停止する

3-1 OK ボタンを押す



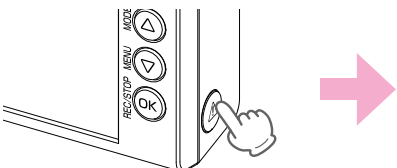
録画ファイルが一時停止し、操作メニューを表示します。
再生を再開する場合は、もう一度OK ボタンを押してください。

・操作メニューの詳細は…
P.56「操作メニュー」

4. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

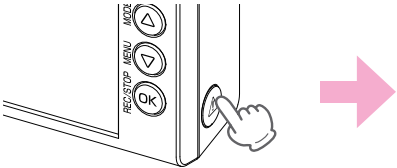
4-1 再生中にRECボタンを押す



録画ファイルを一時停止します。



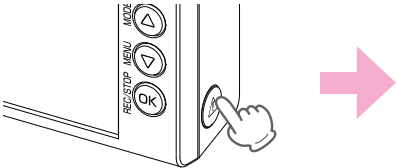
4-2 RECボタンを押す



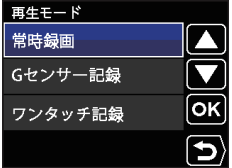
ファイル選択画面を表示します。



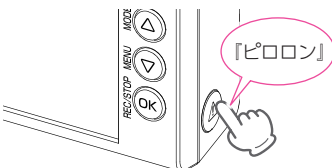
4-3 RECボタンを押す



フォルダ選択画面を表示します。



4-4 RECボタンを押す

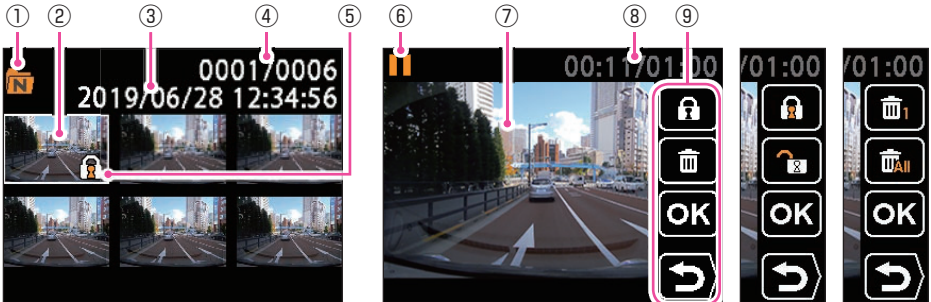


動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

再生モード

再生モードでは、録画ファイルを本機上で再生できます。

※再生モードの表示方法は P.52 を参照ください。



<ファイル選択画面>

<ファイル再生画面>

<保護> <削除>
P.45 P.48

No.	表示名	説明
①	フォルダアイコン	常時録画フォルダを選択中に表示します。
		イベント記録フォルダ (Gセンサー記録とワンタッチ記録) を選択中に表示します。
②	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを白色枠で表示します。
③	記録日時	録画した日時を表示します。
④	ファイル数	現在のファイル / 総ファイル数を表示します。
⑤	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。(P.45)
⑥	動作アイコン	動作の状態をアイコンで表示します。
		▶ 再生中に表示します。
		▶▶ 早送り中に表示します。
		◀◀ 巻き戻し中に表示します。
		一時停止中に表示します。
		×3 8倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
		×4 4倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
		×2 2倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
⑦	記録映像	録画ファイルを再生します。
⑧	再生時間	現在の再生時間 / ファイル総時間を表示します。
⑨	操作メニュー	録画ファイルの保護、削除などを行います。 (P.56「操作メニュー」) ※操作メニューは一時停止中のみ表示します。

再生モード時のボタンの機能

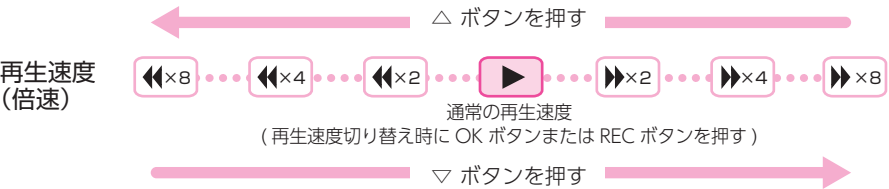
ボタン	動作	機能
△ボタン	ファイル選択時	短押し 前の録画ファイルを表示します。
	ファイル再生時	短押し 再生速度を切り替えます。
▽ボタン	ファイル選択時	短押し 次の録画ファイルを表示します。
	ファイル再生時	短押し 再生速度を切り替えます。
OK ボタン	ファイル選択時	短押し 録画ファイルを再生します。
	ファイル再生時	短押し 再生を停止し、操作メニューを表示します。再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。
REC ボタン	—	短押し 前の画面へ戻ります。再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。

再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×1倍速)で再生されます。

△ボタンと▽ボタンを押すことで再生速度を切り替えます。

再生速度切り替え時に、OK ボタンまたはREC ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります。



※▶▶は早送り、◀◀は巻き戻し、▶は通常の再生です。
※早送り、巻き戻し中は音声再生されません。



操作メニュー

アイコン	本体ボタン	説明		
	△ボタン	保護	短押し	録画ファイルを保護します。(P.45)
		保護解除	短押し	録画ファイルを保護解除します。(P.47)
	▽ボタン	削除	短押し	録画ファイルを削除します。(P.48)
		すべて削除	短押し	録画ファイルを全て削除します。(P.48)
	OK ボタン	決定	短押し	選択項目を決定します。
	REC ボタン	戻る	短押し	前の画面に戻ります。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音でお知らせします。
メッセージ表示を止める場合は、各ボタンを押してください。

※ビープ音を「OFF」に設定している場合、音は鳴りません。

※下記のメッセージが頻繁に表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。

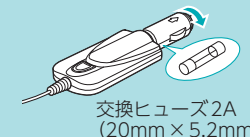
メッセージ	対処方法
SDカードを 挿入してください	☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(P.16) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。
SDカードエラー	☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHC カード ・容量：8～32GB ・SDスピードクラス：Class10以上 ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(P.16) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12、43)
SDカードが いっぱいです	☐ 上書きモードが「上書き禁止」になっていませんか。 上書きモードを「上書き禁止」に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。 上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(P.42) ☐ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。 保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(P.47)か、SDカードをフォーマットする(P.12、43)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で アイコンを表示します。 ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12、43)

メッセージ	対処方法
ファイル 保護されています 消去できません	☐ パソコンなどで録画ファイルを削除してください。 本機で削除できない場合、パソコンなどで録画ファイルを削除してください。(P.50) ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12、43)
SDカードを 読み込めません	☐ SDカードを認識できていません。 左のメッセージを表示したあとに、「SDカードを初期化しますか?」と表示し、そのまま初期化(フォーマット)を行うことができます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12、43)
イベント領域が いっぱいです ※ピープ音の設定に関係なく音は鳴りません。	☐ 上書きモードが「上書き禁止」または「常時録画上書き」になっていませんか。 上書きモードを「上書き禁止」または「常時録画上書き」に設定した場合、イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(P.42) ☐ 保護したファイルで最大記録件数に達していませんか。 保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(P.47)か、SDカードをフォーマットする(P.12、43)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で アイコンを表示します。  <ファイル選択画面>
SDカードの 初期化に 失敗しました	☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHC カード ・容量：8～32GB ・SDスピードクラス：Class10以上 ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(P.16) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 ☐ 他の機器で認識することができるかを確認してください。 本機からSDカードを取り外し、パソコンなどの機器に接続して、SDカードが認識できるか確認してください。

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- ☐ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
シガープラグコードの先端を矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



交換ヒューズ2A
(20mm × 5.2mm)

電源はONになるが本体が起動しない/画面が表示されない

- ☐ リセットボタンを押して再起動してください。(P.60)
- ☐ SDカードを取り外して起動してください。
起動する場合はSDカードが原因となっている可能性があります。本機に対応したSDカードかご確認ください。(記録媒体：microSDHCカード、容量：8～32GB、スピードクラス：10以上)
- ☐ 画面自動オフの設定が[常時ON]以外になっていませんか。(P.42)
各ボタンを押して画面を表示してください。

車両のエンジンをOFFしても本体電源がOFFにならない

- ☐ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニットを接続していませんか。
設定によっては車両のエンジンOFF後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。(P.11)

映像が記録できない

- ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(P.16)
- ☐ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(P.47)か、SDカードをフォーマットする(P.12、43)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。
保護したファイルには、ファイル選択画面上で アイコンを表示します。

イベント記録ファイルがない

- ☐ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。
- ☐ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(P.19「常時録画」)

イベント記録時に音が鳴らない

- ☐ 本機はイベント記録時に音は鳴りません。あらかじめご了承ください。

録画ファイルがない

- ☐ 上書きされていませんか。
初期値では上書きモード「全て上書き」のため上限に達すると上書きされます。(● P.63)
- ☐ 各専用フォルダを確認してください。(● P.18)

電圧監視機能付 電源ユニット接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源スイッチはONになっていますか。
OFFになっている場合は、電圧監視機能付 電源ユニットは動作しません。(● P.32)
- ☐ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。
オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ エンジンOFF時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(● P.34)

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源コネクタは接続されていますか。
電源コネクタが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(● P.30)
- ☐ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。
オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ ディップスイッチ4がOFFになっていませんか。
ディップスイッチ4がOFFになっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(● P.30)

■ リセットボタンについて

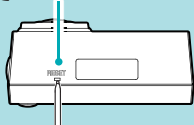
画面が固まって
動かない

ボタンを押しても
反応しない

こんなときは

リセットボタンを押して
再起動してください。

リセットボタン



動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。

仕様

外形寸法 (突起部除く)	60(幅) × 49(高さ) × 27(奥行) mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時 81(高さ) mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
本体重量	約 53g (microSD カード含む)
記録媒体	microSD カード (8GB 付属) 8GB ~ 32GB (Class10 以上)
撮像素子	200 万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※2)
レンズ画角	対角 163°
最大記録画角※1	対角 163° (136° (水平)、73° (垂直))
記録解像度	最大 200 万画素 1080P HD (1920 × 1080) / 720P (1280 × 720)
GPS	無
G センサー	有 0.5G ~ 4.0G (0.1G 単位で感度設定可能)
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ)
記録方式	常時録画 / イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録 < 手動録画 >)
録画ファイル構成	1 分単位
画面サイズ	2.0 インチ フルカラー TFT 液晶
音声	ON / OFF 可能
フレームレート	30 コマ / 秒
映像ファイル形式	MOV
記録映像 再生方法	Windows 標準の Windows Media Player ※3
電源電圧	DC12V マイナスアース車専用 (5V 入力)
消費電力	5W
動作温度範囲	0℃ ~ +60℃
製品保証期間	1 年 (消耗品は除く)

※ 上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2：STARVIS (スタービス) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

※3：Microsoft Windows10、8、7に対応

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大6A)
出力電圧	出力端子B:12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0～45℃
外形寸法	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm(突起部除く)
本体重量	約950g(内蔵電池含む)

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V (入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V車:11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車:23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	-10～60℃
外形寸法	46(幅)×36(高さ)×16(奥行)mm(突起部除く)
本体重量	約34g

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSD カード対応一覧表

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

⚠ 注意

容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。

記録媒体	microSDHC カード
容量	8～32GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

microSD カード容量	1080P HD(初期値)	720P
32GB	約320分	約460分
16GB	約160分	約230分
8GB(付属品)	約80分	約115分

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※録画時間は、常時録画とイベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)の全ての録画時間の合計です。

お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度(● P.42)により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

microSD カード容量	1080P HD(初期値)	720P
32GB	64件	64件
16GB	32件	32件
8GB(付属品)	16件	16件

※最大記録件数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。

索引

記号

- △ボタン 14, 17, 38, 43, 56
- ▽ボタン 14, 17, 38, 43, 56

A

- ACアダプター 15

D

- DCジャック 13

G

- Gセンサー 61
- Gセンサー感度 42, 44
- Gセンサー記録 20, 42

O

- OK ボタン 14, 17, 38, 43, 56
- OP-E368 15
- OP-E1060 15, 22
- OP-MB4000 15, 22, 29, 62
- OP-VMU01 15, 22, 32, 62

R

- REC ボタン 14, 17, 38, 43, 56

S

- SDカード 10, 14, 16
- SD初期化 42
- SDスピードクラス 63
- STARVIS 61

あ

- アフターサービス 裏表紙

い

- イベント記録 18, 19, 63
- イベント記録アイコン 17
- イベント記録件数 17

う

- 上書き禁止 21, 42
- 上書きモード 20, 42

え

- 映像ファイル形式 61

お

- お客様ご相談センター 裏表紙
- 音声 61

- 音声録音 42
- 音声録音 OFF アイコン 17

か

- 外形寸法 61
- 解像度 17, 42
- 画質 61
- 画面サイズ 61
- 画面自動オフ 42

き

- 記録映像 55
- 記録解像度 61
- 記録時間 17
- 記録日時 55
- 記録媒体 61, 63
- 記録方式 61

さ

- 再生時間 55
- 再生方法 61
- 再生モード 52, 55
- 最大記録画角 61
- 撮像素子 61

し

- シガープラグコード 14, 27
- ジョイントレール 13
- 常時録画 18, 19
- 常時録画上書き 21, 42
- 消費電力 61
- シリアルナンバー 13

す

- スピーカー 13
- 全て上書き 21, 42

せ

- 製品保証期間 61
- 設定初期化 42
- 設定メニュー 42
- 選択中のファイル 55

そ

- 操作メニュー 55

索引

て

- 電圧監視機能付 電源ユニット… 15, 22, 32, 62
- 電源直結コード 15, 22, 28
- 電源電圧 61
- 電源ランプ 13

と

- 動画記録モード 17
- 動作アイコン 55
- 動作温度範囲 61

に

- 日時 42

は

- バージョン 42

ひ

- ビープ音 42

ふ

- ファイル数 55
- ファイル保護アイコン 55
- フォーマット 12, 43
- フォルダアイコン 55
- フレームレート 61

ほ

- 本体重量 61

ま

- マイク 13
- マルチバッテリー 15, 22, 29, 62

め

- メンテナンス 22

よ

- 容量 63

り

- リセットボタン 13, 60

れ

- レンズ 13
- レンズ画角 61

ろ

- 録画アイコン 17
- 録画時間 63
- 録画ファイル構成 61
- 録画ファイルの削除 48
- 録画ファイルの保護 45

わ

- ワンタッチ記録 20, 39